

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 502 号	氏名	米 田 晃
学位審査委員	主 査	上 平 憲	
	副 査	永 安 武	
	副 査	中 島 正 洋	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、胃癌患者の手術時の腹腔内リンパ球の免疫学的解析を行い、胃癌に対する免疫治療の確立を目指し、担癌患者の免疫環境を明らかにしようとするもので目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 胃癌患者 64 例の手術時に採取した腹腔洗浄液と同時に採血した末梢血からのリンパ球を分離し、両者の構成サブセットの差、Th1, Th2 および制御性 T (Treg) 細胞の機能性などについて比較し、担癌局所と循環リンパ球の両面からの免疫環境を解析する手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、担癌腹腔局所と末梢血で CD4/CD8 比、NKT-cells、Treg cells などの構成差や胃癌進行度との関連性の差及びサイトカイン産生能の差が観察され、各々の現象について解析・考察も適格にしてあり十分に評価される。</p>			
<p>以上のように本論文は胃癌患者では早期より腹腔内の免疫応答が起きており、将来の免疫治療に関する貴重な所見を提供しており、腫瘍免疫学に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			